



2024年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月11日

上場会社名 クックビズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6558 URL <https://corp.cookbiz.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪ノ 賢次
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部 (氏名) 餌取 達彦 TEL 06-7777-2133
エグゼクティブマネージャー
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第3四半期の連結業績（2023年12月1日～2024年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第3四半期	2,568	29.0	118	△37.4	111	△41.0	54	△66.3
2023年11月期第3四半期	1,991	—	189	—	188	—	162	—

(注) 包括利益 2024年11月期第3四半期 54百万円 (△66.3%) 2023年11月期第3四半期 162百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第3四半期	19.67	19.54
2023年11月期第3四半期	58.86	58.44

(注) 当社は、2022年11月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2023年11月期第3四半期の対前年度四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第3四半期	3,975	1,546	37.7
2023年11月期	3,441	1,526	43.2

(参考) 自己資本 2024年11月期第3四半期 1,499百万円 2023年11月期 1,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年11月期	—	0.00	—	—	—
2024年11月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2024年11月期につきましては、現時点で期末日における配当予想額は未定であります。

3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	31.3	351	21.1	343	19.5	390	45.9	140.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(注) 連結範囲の重要な変更には該当しておりませんが、ワールドインワーカー株式会社を連結子会社として、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年11月期3Q	2,795,041株	2023年11月期	2,790,691株
② 期末自己株式数	2024年11月期3Q	7,054株	2023年11月期	7,054株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年11月期3Q	2,785,656株	2023年11月期3Q	2,758,867株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2024年10月11日 (金) に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、食産業における人手不足に対応する人材サービスであるHR事業、テクノロジーやデータを用いて人手不足を補うDX事業、付加価値の高い事業や商品を有する企業の事業及び経営の再構築を行い、再成長に貢献する事業再生・成長支援の3つの事業を展開しております。

HR事業：主に飲食業界に特化した人材サービス及び特定技能外国人の人材紹介・登録支援サービスの展開

DX事業：主に飲食事業者向けアルバイト業務管理クラウドのHR管理SaaSプロダクトであるCAST事業の展開

事業再生・成長支援事業：連結子会社であるきゅういち株式会社による水産物の冷凍加工業の展開

当社グループのビジョン・ミッション・バリューを基礎として、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた次の10年を「食ビジネスの変革を支援する会社」と定義しています。

人手不足が慢性化している環境下において、HR事業によって食分野への人材流入を促進し、DX事業でテクノロジーやデータを用いて人手不足を補います。また、守るべき食のコンテンツの持続可能性を高めるため、新たに開始した事業再生によって付加価値の高い事業や商品を有する企業の事業・経営の再構築を行い、再成長に貢献いたします。

コロナ前・コロナ禍を比較・分析し、中期的なターゲットKPIを設定の上、2026年～2027年には主要事業であるHR事業の売上規模は40～50億円程度（CAGR25～30%）まで回復・再成長すると試算しています。

これまで支援し続けた「人」を起点に、新たにDXや事業再生を通じて持続可能な食ビジネスのためのエコシステムを提供することで、事業規模の拡大に向けた取り組みを加速させてまいります。

当第3四半期連結累計期間におきまして、主要事業であるHR事業においては、人流の回復とインバウンド需要も増加し、飲食業界の人材採用ニーズの高まりは継続しております。この様な環境下、2024年4月に2012年以来となる求人サイトのリニューアルを実施し、技術的負債を解消するとともに、2019年に開始したスカウトサービスをリニューアルし、顧客の利便性向上に努めました。

また、事業再生・成長支援事業であるきゅういち株式会社においては、ボイルホタテの売上が堅調に推移するとともに、前連結会計年度末において、東京電力のALPS処理水問題に起因した中国による禁輸影響を受けたものの、当連結会計年度より、従前のホールセール販売だけではなく、飲食店への販売を強化した他、ECサイトを通じて一般消費者への直接販売を開始しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,568,612千円（前年同四半期比29.0%増）となりました。利益につきましては、前連結会計年度下期から当連結会計年度上期までの期間において、人材採用をはじめとした戦略投資を強化したため、当第3四半期連結累計期間におきましては当該投資による費用増に伴い、営業利益は118,716千円（前年同四半期比37.4%減）、経常利益は111,414千円（前年同四半期比41.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は54,794千円（前年同四半期比66.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①HR事業

HR事業は、クックビズ株式会社において、飲食業界に特化した求人情報サイト「cookbiz」を運営しており、当該サイトを通じて、コンサルタントを介した有料職業紹介を行う「人材紹介サービス」、求人情報を求職者に提供する「求人広告サービス」、ダイレクトリクルーティングサービスを提供する「スカウトサービス」、「採用総合支援サービス」を展開しております。また、当連結会計年度より連結開始となる子会社ワールドインワーカー株式会社による特定技能外国人人材紹介・登録支援等の事業及び研修サービス、CAST事業等を「その他」に分類しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度下期からの人員の積極採用・育成および2024年4月に実施した求人サイトリニューアルによって営業現場の生産性が一時的に停滞した影響に加え、第3四半期連結会計期間は従来のHR事業の季節性において閑散期であることから、大幅な成長には至りませんでした。

その結果、当セグメントにおける売上高は1,574,982千円（前年同四半期比15.7%増）となりました。セグメント損益は、戦略投資による費用増に伴い、営業損失679千円（前年同四半期セグメント利益は121,655千円）となりました。

※ cookbiz：当社は人材紹介サービス及び求人広告サービスにおいて「cookbiz」の同一ブランドにて展開しております。

②事業再生・成長支援

事業再生・成長支援は、連結子会社であるきゅういち株式会社においてホタテ・ホッケ・サバ等の冷凍加工業を行っております。主に北海道道南エリアの漁業協同組合等から買付を行い、冷凍加工後、商社・大手水産加工会社等への販売を主要事業としております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、噴火湾でのボイルホタテおよびベビーホタテの仕入・加工・販売が堅調に推移し、単価も堅調に推移いたしました。

その結果、当セグメントにおける売上高は995,250千円（前年同四半期比58.0%増）となりました。なお、きゅういち株式会社は、前第3四半期連結累計期間においては、2022年10月3日から2023年5月31日までの8ヶ月間の損益を連結しており、当第3四半期連結累計期間につきましては、2023年9月1日から2024年5月31日までの9ヶ月間での連結となるため、前年同四半期比で大幅な増収となっております。セグメント利益につきましては、101,396千円（前年同四半期比103.1%増）となりました。当連結会計年度より開始したECサイト運営に伴う発送費用等の諸経費が増加したことにより販管費が増加したものの、堅調な売上伸長により前年同四半期比で増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ533,806千円増加し、3,975,345千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が250,855千円、売掛金が112,233千円、機械装置及び運搬具が136,560千円、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が純額で95,933千円増加したためであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ513,967千円増加し、2,428,604千円となりました。その主な要因は、契約負債が53,914千円、短期借入金が92,750円それぞれ減少したものの、未払金が49,094千円、1年内返済予定の長期借入金が112,764千円、長期借入金が444,671千円それぞれ増加したためであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ19,838千円増加し、1,546,741千円となりました。その主な要因は、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,809千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が8,237千円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月期の連結業績予想につきましては、2024年7月12日「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,118,796	2,369,652
売掛金	196,564	308,798
未収入金	28,444	1,633
商品及び製品	291,994	204,797
原材料及び貯蔵品	7,495	8,605
短期貸付金	120,000	—
前払費用	22,026	44,264
その他	2,508	15,534
貸倒引当金	△1,280	△2,330
流動資産合計	2,786,549	2,950,955
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	67,607	108,539
機械装置及び運搬具（純額）	21,680	158,241
工具、器具及び備品（純額）	8,993	22,945
土地	49,733	49,733
リース資産（純額）	15,182	12,652
有形固定資産合計	163,198	352,112
無形固定資産		
ソフトウェア	98,394	375,903
ソフトウェア仮勘定	205,924	24,347
のれん	—	48,954
商標権	1,213	1,115
無形固定資産合計	305,531	450,321
投資その他の資産		
関係会社株式	5,000	—
投資有価証券	99,980	99,980
敷金及び保証金	27,020	74,630
繰延税金資産	54,153	47,231
その他	105	115
投資その他の資産合計	186,259	221,957
固定資産合計	654,989	1,024,390
資産合計	3,441,539	3,975,345

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,854	14,266
短期借入金	392,750	300,000
1年内返済予定の長期借入金	137,436	250,200
未払金	107,571	156,666
未払費用	78,254	122,748
未払法人税等	55,038	21,680
未払消費税等	4,646	34,865
契約負債	121,622	67,708
賞与引当金	41,193	26,284
返金負債	4,502	4,861
預り金	10,703	31,335
リース債務	3,233	3,444
資産除去債務	—	2,863
その他	—	37
流動負債合計	981,806	1,036,960
固定負債		
長期借入金	897,519	1,342,190
リース債務	13,693	11,081
資産除去債務	11,146	26,343
繰延税金負債	10,472	12,029
固定負債合計	932,830	1,391,644
負債合計	1,914,637	2,428,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	760,463	762,273
資本剰余金	753,463	755,273
利益剰余金	△26,362	△18,124
自己株式	△273	△273
株主資本合計	1,487,291	1,499,148
新株予約権	39,611	47,592
純資産合計	1,526,902	1,546,741
負債純資産合計	3,441,539	3,975,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
売上高	1,991,467	2,568,612
売上原価	552,881	826,407
売上総利益	1,438,585	1,742,205
販売費及び一般管理費	1,249,012	1,623,488
営業利益	189,573	118,716
営業外収益		
受取利息及び配当金	848	186
受取賃貸料	1,927	3,338
利子補給金	3,753	2,506
還付加算金	2,797	—
その他	2,333	2,679
営業外収益合計	11,661	8,710
営業外費用		
支払利息	12,025	15,863
その他	250	150
営業外費用合計	12,275	16,013
経常利益	188,959	111,414
特別利益		
固定資産売却益	—	203
新株予約権戻入益	—	1,420
特別利益合計	—	1,623
特別損失		
固定資産除却損	309	5,880
特別損失合計	309	5,880
税金等調整前四半期純利益	188,649	107,157
法人税、住民税及び事業税	43,724	43,884
法人税等調整額	△17,449	8,479
法人税等合計	26,274	52,363
四半期純利益	162,375	54,794
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,375	54,794

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
四半期純利益	162,375	54,794
四半期包括利益	162,375	54,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,375	54,794
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	20,917千円	64,856千円
のれんの償却額	—	4,196

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年12月1日至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	合計			調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	HR事業	事業再生 ・成長支援	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,361,537	629,930	1,991,467	—	1,991,467
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	20	20	△20	—
計	1,361,537	629,950	1,991,487	△20	1,991,467
セグメント利益	121,655	49,918	171,573	18,000	189,573

(注) 1. セグメント利益の調整額18,000千円の内容は、セグメント間の取引高相殺消去に係るものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年12月1日至2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	合計			調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	HR事業	事業再生 ・成長支援	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,573,362	995,250	2,568,612	—	2,568,612
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,620	—	1,620	△1,620	—
計	1,574,982	995,250	2,570,232	△1,620	2,568,612
セグメント利益又は損失(△)	△679	101,396	100,716	18,000	118,716

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額18,000千円の内容は、セグメント間の取引高相殺消去に係るものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

(重要な後発事象)

当社の連結子会社であるきゅういち株式会社は、2024年6月14日に「ALPS処理水関連の水産業の緊急国内加工体制の強化対策事業補助金」の額の確定について、全国水産加工業協同組合連合会理事長より通知を受けました。

- (1) 発生日 2024年6月14日
- (2) 事業名 ALPS処理水関連の水産業の緊急国内加工体制の強化対策事業補助金
- (3) 補助金確定額 89,333千円
- (4) 当該事象の連結損益に与える影響額

当該補助金は2024年11月期第4四半期連結会計期間において、補助金収入として89,333千円を特別利益に計上する予定であります。